

福生市教育委員会会議録

平成31年第1回定例会

- 1 開催年月日 平成31年1月25日（金）
- 2 開始時刻 午後3時00分
- 3 終了時刻 午後4時05分
- 4 場 所 第二棟4階 第1委員会室
- 5 出席委員 教 育 長 川 越 孝 洋
委 員 渡 辺 浩 行
委 員 加 藤 孝 子
委 員 坂 本 和 良
委 員 野 口 哲 也
委 員 新 藤 美 知 子
- 6 欠席委員 なし
- 7 出席者氏名 教 育 部 長 鳥 越 裕 之
参事兼教育指導課長 井 尻 郁 夫
教 育 総 務 課 長 中 島 雅 人
教 育 支 援 課 長 野 崎 昌 利
学 校 給 食 課 長 中 岡 保 彦
生 涯 学 習 推 進 課 長 菱 山 栄 三 郎
ス ポ ー ツ 推 進 課 長 内 藤 毅 誠
公 民 館 長 佐 藤 克 年
図 書 館 長 森 田 雅 枝
特別支援教育担当主幹 酒 見 裕 子
英語教育推進担当主幹 林 宣 之
指 導 主 事 鈴 木 輝
指 導 主 事 重 末 祐 介
- 8 傍 聴 人 0人

午後3時00分 開会

教 育 長 それでは、ただいまから平成31年第1回福生市教育委員会定例会を開会いたします。

これより本日の会議を開きます。

まず、日程についてお諮りいたします。日程第4、議案第2号、福生市立学校教育管理職の人事異動の内申について、につきましては、人事案件のため、福生市教育委員会会議規則第8条の規定に基づき、これを公開しない会議とし、日程第7、その他報告事項の後に審議を行いたいと思いますが、御異議ありませんか。

(「異議なし」の声あり)

教 育 長 異議なしと認めます。

よって、議案第2号は公開しない会議とし、日程第7、その他報告事項の後に審議することといたします。

これより日程に入ります。

日程第1、会議録署名委員の指名を行います。

福生市教育委員会会議規則第19条の規定に基づき、新藤美知子委員、渡辺浩行委員の兩名を署名委員として指名いたします。

次に、日程第2、教育長報告を行います。教育長報告を各担当部長より申し上げます。

初めに、教育部長より報告いたします。

教 育 部 長 私からは、学校教育事務を除く所管事務について、平成30年12月15日から平成31年1月21日までの報告をさせていただきます。

(1)、市長部局等につきましては、特段ございません。

(2)、教育総務課でございます。1月11日、第三中学校訪問。18日、第二小学校訪問を実施いたしました。御参加いただき御礼を申し上げます。

(3)、学校給食課でございます。1月14日の福生市成人式、成人のつどいにおいてなつかしの給食を復活いたしました。300食、5品目の給食を提供しております。

(4)、生涯学習推進課でございます。1月14日の成人式には御参列いただき御礼を申し上げます。昨年にもまして落ちついた式典でございました。教育委員の方々、どのように感じられたでしょうか。なお、31年の成人式の対象者は656名でございますが、参加者は375名で、参加率は57.2%でございます。

次に、(5)、スポーツ推進課でございます。1月5日、新春ふっさウ

オーキングを開催いたしました。当日、郷土資料室、どんぐり公園、文化の森等をめぐるコースで参加者は75人、そのほとんどが高齢者でございますが、リピーターが多い状況でございました。私がスポーツ推進課長をやっているときよりも、参加者が大分ふえているような印象でございます。

(6)、市民会館、公民館は記載のとおりでございます。

(7)、図書館でございます。12月24日、講談社が実施するブックキャラバンに来ていただきました。これは、トラックを改造した移動図書館で全国行脚をしているものでございます。毎年、手を挙げて来ていただいているものでございます。

次に、12月20日と21日、武蔵野台図書館で第六小学校の3年生と4年生によるブックトークを実施いたしました。これは、本が苦手な子どもへの取組でございまして、小学生が本の楽しさを語り、実際に本をとってもらおうとする取組でございます。

私からは以上でございます。

教 育 長
参事兼教育指導課長

続きまして、参事より報告いたします。

私からは、学校教育に関する所管事務について大きく2点御報告申し上げます。

1点目、インフルエンザによる学級、学年閉鎖の報告です。インフルエンザが猛威を振るっているとの報道がありますが、まさに本市においても先週、そして今週になりまして罹患児童・生徒が増加しております。学級、学年閉鎖は、小学校は第五小学校を除く6校で、中学校は第三中学校で2日間あるいは3日間の学級閉鎖、学年閉鎖を行っております。

続いて、2点目、行事等当面の予定についてですが、8点ございます。

1点目は、福生市立学校書写展ですが、1月23日水曜日から1月28日月曜日まで例年どおり市役所1階ロビーにて開催しております。

2点目、福生市立学校展覧会ですが、本日1月25日から1月27日日曜日まで、こちらも例年どおり、福生市民会館展示スペースにて開催いたします。

3点目でございます。昨年12月の教育委員会定例会でも御報告申し上げましたが、未来を拓くふっさっ子学習発表会が、明日の26日土曜日、午後1時から福生市民会館大ホールにて開催いたします。児童・生徒は、それぞれ発表に向けて準備をしまいましたが、インフルエンザの影響もある中での開催となります。当日多くの市民の皆様にご参加いただけるよう、教育総務課、教育支援課、生涯学習推進課の課長をはじめ、係員の皆様にご

御協力をいただきながら準備に取り組んでいるところでございます。

4点目、平成30年度東京都教育委員会職員表彰の表彰式が、平成31年2月8日金曜日、午後4時から東京都庁第一本庁舎大会議場で開催されます。今年度は、福生第二中学校の小出宏校長先生、福生第三中学校の田中悦子教諭が表彰されることになっております。

5点目、第10回中学生「東京駅伝」大会についてでございます。お手元に「東京駅伝」と書かれた東京都教育委員会作成の冊子を御用意いたしました。ご覧ください。2月3日、今年は味の素スタジアム内のアミノバイタルフィールドを会場としまして、女子は午前10時、男子は午後1時にスタートでございます。

冊子の49ページに福生選手団の名簿と写真が掲載されておりますので、後ほど御確認をお願いいたします。今年度は、これまで以上に選手の選抜から練習まで計画的に取り組んでまいりました。いよいよ大会が近づいてまいりましたが、福生市選手団として、当日は万全な体制で臨みたいと考えております。

6点目は、福生市教育研究奨励校、福生第二小学校の研究発表です。研究テーマは、「思いやりの心もち、自他の関わりを大切に生きて生きる児童の育成―伝え、深め、認め合う「特別の教科 道徳」の授業づくり―」と題して、授業公開、研究発表が行われます。その後、元全国小学校道徳教育研究会会長の金子和明先生に研究主題と同様の演題で御講演を賜ります。

7点目でございます。「福生市立学校教育研究会報告会」でございます。2月13日水曜日、午後1時半、福生市民会館小ホールにて、今年度小学校外国語活動、小学校家庭科、小中合同保健教育、中学校国語、中学校保健体育の5部会が合同発表を行います。

最後に8点目、福生市立学校コミュニティ・スクール説明会を、2月23日土曜日、午後2時からもくせい会館にて開催いたします。

以上でございます。

教 育 長

以上、報告は終わりました。

質問等がありましたらお願いいたします。

いかがでしょうか。よろしいですか。

それでは、ないようでございますので、教育長報告を終わります。

次に、日程第3、議案第1号、平成30年度福生市教育委員会表彰者の決定についてを議題といたします。教育総務課長より内容の説明をお願いい

たします。

教育総務課長　それでは、議案第1号、平成30年度福生市教育委員会表彰者の決定について、提案理由並びに内容について御説明を申し上げます。

3ページをお願いいたします。提案理由でございますが、平成30年度福生市教育委員会表彰の表彰者を決定する必要があるため、本案を提出するものでございます。

この表彰は、福生市教育委員会表彰規程に基づき実施をするものでございまして、10月15日に発行の教育広報、またホームページ等で周知を行いまして、12月上旬までに推薦をいただき、1月9日に福生市教育委員会表彰審査会を開催し、さらに表彰審査会後に追加の推薦がございましたことから持ち回りでの審査会を開催したところでございます。

審査会では被表彰者として適当であるかの審査を行いまして、5ページから10ページの被表彰候補者名簿の右側に丸印を記入しておりますが、名簿の番号1番から33番まで被表彰者として適当であるとの結果となっております。

表彰候補者推薦件数の合計は、10ページの下段にございますとおり、児童及び生徒の表彰では個人が21件、団体が2件、学校教職員の表彰では個人が3件、個人及び団体の表彰では個人が3件、団体が4件でございまして、合計で個人27件、団体6件の合計で33件となっております。各表彰候補者の詳細につきましては、事前に資料を御配付させていただき、表彰理由の概要を御参照いただいておりますので、説明は省略させていただきます。

また、11ページ以降には表彰式の案を添付してございます。表彰式の日程は3月9日、午前10時30分を開式といたしまして、場所は福生市民会館小ホールを会場といたします。式次第、御来賓、当日のスケジュールは記載のとおりでございます。

御審議を賜りまして、原案のとおり被表彰者につきまして御決定くださいますようお願いいたします。

説明は以上でございます。

教 育 長　内容説明は終わりました。質疑がありましたらお願いいたします。いかがでしょうか。

いかがでございましょうか。大体例年と同じぐらい推薦をいただきまして、先ほど申しましたように、表彰審査会において決定をしております。当日の表彰式の案ということで、今回も昨年と同様にやりたいと思います

が、こういう形でよろしいでしょうか。

それでは、質疑を終わります。

お諮りいたします。議案第1号は原案のとおり決することに御異議ありませんか。

(「異議なし」の声あり)

教 育 長 異議なしと認めます。

よって、議案第1号は原案のとおり可決することといたします。

次に、日程第5、報告第1号、平成30年度東京都児童・生徒の学力向上を図るための調査結果についてを議題といたします。指導主事より内容の説明をお願いいたします。

指導主事(鈴木) 日程第5、報告第1号、平成30年度東京都児童・生徒の学力向上を図るための調査結果について御報告いたします。A3判の報告第1号資料をお願いいたします。

平成30年度東京都児童・生徒の学力向上を図るための調査結果が昨年10月25日に東京都教育委員会から公表されました。本市における結果について概要をまとめましたので、御報告いたします。

本調査は、平成30年7月5日に都内全公立小・中学校悉皆調査として、小学校第5学年、中学校第2学年を対象に実施いたしました。本調査は、学習指導要領に示されている教科の目標及び内容の実現状況及び読み解く力に関する内容の定着状況を把握し、指導方法の改善に結びつけることにより児童・生徒一人一人の確かな学力の定着と伸長を図ることを目的としております。各教科の平均正答率につきましては、上段、ボックスの右側にお示ししたとおりでございます。今年度の調査で明らかになった成果について御報告いたします。

真ん中左側のボックスをお願いいたします。まず、全体ですが、「「読み解く力」の平均正答率において、東京都との差が縮小した」と書かせていただきました。こちらの表ですけれども、文章や図表等から必要な情報を正確に読み取り、理由を理解、解釈して解決をする読み解く力を見る問題の平均正答率が平成27年度の調査、そして今年度の調査を比較した表となっております。ちなみに、この平成27年度の調査ですが、今年度の中学校2年生が小学校5年生のときに受けた結果でございます。こちらの結果を見ますと、理科以外の3教科で東京都の平均正答率との差が縮小し、着実に力をつけているということがわかりました。また、その下の部分、教科ごとの分析の結果についてですが、こちらにつきましては、2枚おめ

くりをいただきまして、資料2をお願いいたします。

各問題で御説明をさせていただきます。左側、一番上になります。小学校社会科ですが、こちらは例年御報告をしております自分の学校がある市町村を選ぶ問題でございます。こちらは、本市の課題として毎年先生方に指導をするように話をしている問題でございます。こちらの今年度の結果ですけれども、今年度は東京都の平均正答率をかなり上回ることができました。この要因ですが、各学校が本問題について課題であるという認識を持って授業において意識的に指導してきたからだと考えております。

次に、真ん中、中学校数学。こちらでは課題となっていました、書く、説明をするという問題で、東京都の平均を上回る成果が見られました。

また、一番下になりますが、英語科の整序問題では昨年度も6割以上の生徒が正答し、成果が得られる問題として報告をさせていただいておりましたが、今年度も高い正答率が見られました。

以上のことから、部分的ではございますが、授業改善等の取組が着実に成果としてあらわれているということがわかりました。

続いて、課題について御報告をいたします。恐れ入りますが、1枚お戻りいただきまして、資料1をお願いいたします。課題の1点目としまして、小学校の国語、社会、算数と、中学校の社会、数学、英語は基礎基本が十分に定着していないと思われる児童・生徒の割合が、東京都全体と比べて本市では比較的多いということがわかりました。こちらは、今ごらんいただいております資料1の正答数分布から読み取れたものでございます。こちら、全教科で教科書の例題レベルとしております習得目標値、こちらを分析した結果でございます。このラインに達していない児童・生徒は、教科書の例題レベルの問題が完全に解けていないということになります。こちらが、先ほど申しましたように、東京都の割合と比べて大きいということがわかりました。

大変申しわけありません。また、1枚戻っていただきまして、報告第1号資料、真ん中のボックス右側になります課題の全体になりますが、小学校では今お話しさせていただきましたように、国語では9.8%の児童が習得目標値未満になります。また、算数においては23.2%、こちらが習得目標値未満の児童の割合となっております。また、中学校数学についても、高い数値が出ていることがわかりました。

また、具体的に問題を見ていきますと、2枚めくっていただきまして、成果・課題があった問題をお願いいたします。こちらの3問で課題が見ら

れた問題として把握をしております。まず1番目ですが、小学校国語については、全国学力学習状況調査の際にも御報告をさせていただきましたけれども、主語と述語の関係、また修飾と被修飾との関係、こちらについて東京都の調査でも課題があるという結果が出ております。

これらの成果と課題を踏まえ、今後の取組の方向性として教育指導課の取組について御報告をさせていただきます。行ったり来たりで申し訳ありません、また1枚目をお願いいたします。

教育指導課として福生市立学校の学力向上策に基づき、5点について今後進めてまいりたいと考えております。

まず、1点目ですが、習得目標値に達していない児童・生徒の割合が10%を超える教科についての対応です。この教科につきましては、該当する児童・生徒に既習事項の基礎基本を図る個別な支援、指導を継続的に行うことが大切だと考えております。東京ベーシックドリル等のドリル学習を計画的に行うよう指導してまいります。

2点目は、授業改善推進プランの活用です。具体的な授業改善策に基づく授業改善が進められるよう、指導主事による指導訪問の充実を図ってまいります。

3点目は、問題解決的な活動場面の位置づけ。また、4点目はICT機器の活用による家庭との連携。そして、5点目は指導と評価の一体化の推進でございます。

いずれも、これから始まります学習指導要領の趣旨を踏まえ、授業改善が推進されるよう指導を継続してまいります。

以上で報告とさせていただきます。

教 育 長 内容説明は終わりました。質疑等ありましたらお願いいたします。いかがでしょうか。

渡 辺 委 員 すみません。質疑ではございませんけれども、残念だなと思ったのは英語でして、東京都全体とのポイント数は一番少ないですよね。ですが、英検の取得率が非常に高いのは存じていますが、それが実際こういうところに生きていないなという感じを受けます。やはりこのところをもう少し御指導いただきまして、福生といえば英語だというようにするには、うまく引き上げられればと思いますので、さらなる御指導をお願いしたいという要望でございます。

以上です。

教 育 長 2年間、去年とおととは超えていたのですけれども、この後、3級へ

向けてかなり頑張っているのだらうと思います。3年生修了時にはそういう英検の取得率の結果は出ているのですが、2学年を対象にやった試験でございますので、ここからさらに奮起を促していきたいところでございます。

ほかにもございますか。

坂本委員 先生も生徒も、子どもたちも一生懸命頑張って結果が出てきているということはありがたいことだと思いますし、ずっと上り調子ということも多分ないでしょうから、上がったたり下がったりしながらトータルとして上がっていったくれれば良いと考えたほうが良いかなと私は思っています。

それで、もうこれまでも学校の先生方というのはいろんな努力をされていると思うのですが、教育指導課による取組の方向性ということで、これまでと違った新しいものだというものがあつたら、教えてもらえますか。

指導主事(鈴木) こちら5点の中で、特に2点目になります。今年度授業改善推進プランをより活用していくということで、様式につきまして少し工夫を加えまして、実際に授業で活用できる様式を示しまして、各学校で作成をお願いしたところがございます。こちらについては、実際の授業を想定しながら具体的な授業改善策を考えられるということで、それをもとに指導主事が実際にその授業を見て直接学校を指導するという体制を今年度から整えたところです。こちらについては、来年度も充実をして指導してまいりたいと考えております。

以上です。

坂本委員 学校の先生たちがどうすればいいのかということの案をもっと具体的にわかるような指導をぜひお願いしたいと思います。

以上です。

教育長 はい。承知しました。ありがとうございます。

ほかにもございますか。

新藤委員 算数、数学の割合がやはり際立って高いですね。でも、先生方もかなり努力し、少人数指導を小学校も中学校も取り組んで一定の年限がたっていると思うのです。その少人数指導のあり方を振り返っていただきながら、教育指導課で先生方としっかりとそのあたりを組み直していただければありがたいなと思います。

先生方が現場で抱えている少人数指導の課題とか、それから生徒の変容の特徴とか、そういったものを具体的にきちっと洗い出してもう一回整理

をしていただければ、一つの糸口にはなるのかなと思います。よろしくお願いいたします。

指導主事（鈴木） ありがとうございます。実際に少人数指導が始まって、今かなり形を、先生方も意識して指導してきているため、やはりそれぞれの違うクラスの中でどう授業を工夫するかというのは、まだまだ先生方も悩んでいるところかなと感じております。やはり指導主事が実際に授業等を見ながら、具体的に指導していければと思っております。ありがとうございます。

教 育 長 本当に大事なところでございまして、少人数指導のメリット、デメリット、やはり教員の教えやすさというより子どもたちの学びやすさという視点を持って、私も学校訪問として教育委員の皆様と一緒に学校を回らせていただいていたときに、少人数指導でやっている意味がないというか、学習スタイルは全く一斉指導と同じというところで、大変これは課題だなと思っていたところございまして、ぜひ、坂本委員からも先ほどございましたけれども、次年度へ向けて、優秀な指導主事が東京都から来ていただいていますので、授業改善へ向けて、また教員も大分教科リーダーとして、育ってはきているような気がします。ただ、ちょっと学校によって意識の差が見られ、組織的にきちんと授業改善が図れていて、授業指導の向上へ向けて指導力が上がっているところと、やはりそうでないところとでちょっとばらつきがあるなと思います。それが、やっぱり今回の学力調査の結果を見ても、平均としてはこうなるのですけれども、学校によっては都の平均を超えている学校もありますし、教科もありますので、そういうばらつきが見られるということが課題かなと認識いたしておりますので、今後ここに掲げておりますように、今後の取組というところで我々精いっぱいやっていきたいと思っておりますので、御指導方、よろしくお願いいたします。

この件につきましては、よろしいでしょうか。

ありがとうございました。それでは、お諮りいたします。報告第1号は報告のとおり承認することに御異議ありませんか。

（「異議なし」の声あり）

教 育 長 異議なしと認めます。

よって、報告第1号は報告のとおり承認することといたします。

次に、日程第6、報告第2号、「平成30年度東京都児童・生徒体力・運動能力、生活・運動習慣等調査」の結果についてを議題といたします。

指導主事（重末） 日程第6、報告第2号、「平成30年度東京都児童・生徒体力・運動能力、

生活・運動習慣等調査」の結果について報告いたします。別紙の資料をごらんください。

本調査は、平成30年度における児童・生徒の体力、運動能力や生活、運動習慣の実態を把握するための調査です。都内全小・中学校の児童・生徒が調査対象となっており、本市においては毎年6月に実施しております。調査種目は資料の上段にあるように、握力や上体起こし等、全部で8種目あります。また、生活習慣や運動習慣についての調査も行います。本日は、本調査における体力合計点の平均とその伸び率について、また調査した8種目のうち東京都の平均よりも下回った種目を課題として挙げてまとめました。

まずは、体力合計点の平均についてです。体力合計点の算出方法は、調査書の表には、項目別得点表があり、測定の結果に応じて1から10点の得点が得られます。体力合計点は、8種類の調査種目の合計点になります。東京都と比較すると、男子では小学校1年生、3年生と、中学校1年生、2年生が、女子では小学校2年生、3年生、4年生と中学校全学年が東京都の平均を上回っています。

次に、体力合計点の伸び率の平均についてです。体力合計点の伸び率は、前年度の結果と比較してどの程度伸びたか割合であらわしたものです。平成29年度からの伸び率を見ると、東京都の平均を下回っている学年が多いです。しかし、今年度の種目ごとの結果は、小・中学校の全学年で多くの種目で東京都の平均を上回っています。この結果については、東京都の児童・生徒のほうが伸びしろが大きいと考えられます。

続いて、特に課題となる種目についてです。資料右側をごらんください。小学校では20メートルシャトルランと反復横とびが男女共通して東京都平均を下回っている学年が多く、中学校でも20メートルシャトルランが全学年で東京都平均を下回っています。そのため、小学校では体づくり運動を工夫して敏捷性を高める指導をしたり、福生市の長縄大会を活用し、長時間運動に親しませる指導をしたりすること。また、中学校についても、全身持久力を高めるための指導の工夫が必要です。

最後に、教育指導課における取組の2点の方向性についてです。福生市教育委員会としては、児童・生徒一人一人が適切に体力を伸ばすための目標を立てられるよう体力テスト記録表の活用を推進していくこと。また、福生市の児童・生徒の体力面の課題を解決するために、来年度の体力向上推進委員会において課題解決に向けた授業改善策や効果的な取組について

検討していきます。

以上で報告とさせていただきます。

教 育 長 内容説明は終わりました。質疑等ありましたらお願いいたします。

新 藤 委 員 すみません。この結果の中には特別支援学級の生徒たちの結果も含まれておりますか。

指導主事(重末) この調査は全部の児童・生徒ということですので、特別支援学級の児童・生徒も対象となっております。

新 藤 委 員 そうですか。はい。

教 育 長 よろしいでしょうか。全体的には都の平均を超えているようですが、やはり右側にありますように、どちらかという、やはり家庭との連携が必要かなという部分がございます、特に生活習慣等の環境等もかなり影響しているかと思っておりますので、この辺も強化をしていく必要があるのではないかという見解、認識を持っております。

坂 本 委 員 ハンドボール投げについては、どんな状況でしょうか。

指導主事(重末) ここに上がっていないものに関しては、ほとんど東京都の平均値を上回っているということですので、投げるというところに関しても、ハンドボール投げ、中学生なのですけれども、東京都の平均が1年生では17.6のところ、福生市では18.5と上回っております。また、2年生、3年生におきましても、2年生男子が東京都が20.4、福生市が22.5と上回っており、3年生におきましても、同様に東京都が23、福生市が23.5とポイントの上で上回っております。

坂 本 委 員 このシャトルランとハンドボール投げが全体的に低いというのは何か聞いたことがあるのですけれども、それは東京都と比べているだけで、全国と比べた場合はどうですか。

指導主事(重末) 投力、投げる運動に関しては、全国的に各地区とも結果が低いというところになっております。本市は東京都と比較したときには各学年で数値を上回っているところになっております。

指導主事(鈴木) 投力のハンドボール投げについては、確かに全国的に課題があるとなっているのですが、特に東京都ではそれよりもかなり低いということにして、これは数年来、東京都の一番の課題ということで投力の向上が言われております。

本市につきましては、細かな数字が今手元にはないのですが、東京都は上回ってはいるのですが、全国と比べますと、大体平均値か、もしくはやや下回るという状況でございます。こちらについては、やはり福生

市として東京都を上回っているからいいというのではなくて、東京都の平均が下回っている、かなり低いという状況の中で福生は数値がいいというところがあるかなとは感じております。一応結果についてはもう出ておりますので、数値等については後ほど御報告いたします。

以上です。

教 育 長 よろしいですか。指導主事、それから坂本委員が御指摘なさった意図というものも、投力は確かに東京都が全国平均よりもかなり低いという課題がございまして、東京都教育委員会もその辺を指摘しているのですが、ただいま申し上げましたように、全国と本市との比較の中でその傾向を見ていながら、また取り組んでまいりたいというところがございます。また改めてデータを比較してみたいというところがございます。

よろしいでしょうか。ほかにもございますか。また、次年度へ向けて、先ほど申しましたように、生活習慣等のデータもできれば提示したいと考えておりますので、また御指導方よろしくお願いをいたします。

それでは、お諮りいたします。報告第2号は報告のとおり承認することに御異議ありませんか。

(「異議なし」の声あり)

教 育 長 異議なしと認めます。

よって、報告第2号は報告のとおり承認することといたします。

次に、その他報告事項について説明願います。

まず、平成30年第4回福生市議会定例会の報告について、教育部長よりお願いいたします。

教 育 部 長 それでは、平成30年第4回福生市議会定例会について御報告させていただきます。会期は12月4日から12月21日までの18日間で行われました。教育委員会に係る主な案件でございますが、福生市地域会館条例の一部を改正する条例、福生市プチギャラリー条例の一部を改正する条例、扶桑会館、熊川地域体育館及び福生地域体育館並びに福生市民会館の指定管理者の指定について、そして平成30年度福生市一般会計補正予算(第3号)についての6件でございます。教育関係の補正でございますが、債務負担補正でございます。指定管理者制度に係る扶桑会館、熊川地域・福生地域体育館、市民会館の指定管理委託料でございます。全ての議案が提案どおり承認されております。

次に、一般質問でございますが、全体では16名で行われました。教育委員会関係では、7名でございます。

次に、一般質問及びその答弁の内容につきましては、以下に記載がございますので、後ほど御確認いただければと思います。

議会報告は以上でございます。

教 育 長 ほかに委員の皆様から何かございますか。私どもは以上でございますが、その他報告事項でございますけれども、何かございますか。

よろしいですか。

それでは、特にないようでございますので、その他報告事項の説明は終わります。

それでは、ここで先ほど日程についてお諮りいたしました日程第4、議案第2号、福生市立学校教育管理職の人事異動の内申についてを公開しない会議といたしましたので、これからは公開しない会議となります。傍聴の方、関係者以外の方は退席をお願いいたします。

暫時休憩いたします。

(非公開会議)

午後4時05分 閉会